

今年『長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』が 世界文化遺産に登録されて3周年です

島原・天草一揆を題材とした小説『幻日』(故 市川森一氏・作)は長崎新聞で2010年より1年4か月連載され、画家・柏本龍太氏による挿絵が掲載されました。

連載終了後、今年で10年が経過します。本展覧会では4期にわたり『幻日』に描かれた原城跡や天草四郎などの挿絵全67点を一挙特別公開します。

【第1期】 「回想」

会期：令和3年12月17日(金) ▶ 令和4年1月12日(水)



「#2 ヴァリニャーノ氏」

原城籠城に備え

セミナリヨで学んだ5人が原城の門をくぐる
46年前のセミナリヨでの日々を「回想」しながら

【第2期】 「寄せ手の人々」

会期：令和4年1月14日(金) ▶ 2月2日(水)

「寄せ手の人々」(幕府軍)の動きを描く
知恵伊豆(松平伊豆守信綱)の島原入り、
原城制圧に苦戦する板倉重昌は銃弾により命を落とす



「#22 先駆」

【第3期】 「春の城」

会期：令和4年2月4日(金) ▶ 2月23日(水)



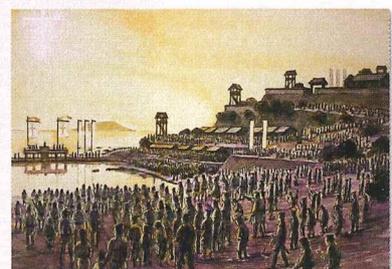
「#30 最初のミサ」

原城は当時「原(はる)の城」と呼ばれていた
天草四郎は「春(原)の城」でミサを挙げる
四郎を中心に籠城の様子を描く

【第4期】 「夢回路」

会期：令和4年2月25日(金) ▶ 3月16日(水)

幕府軍の総攻撃が始まり
原城本丸での最期の戦いを描く
信綱には原城の出来事が
「夢回路」(一炊の夢)のように思われた



「#58 蓮池のミサ」